

1 教育目標

1 スクール・ミッション

「グローバルに激変する社会環境のなかで、自立することのできる人材の育成」を教育目標とし、英語教育とビジネス教育を柱に、生徒が他者への尊敬の精神を持ち、異文化理解や国際交流を通して主体的に自らの学びを深め、将来にわたり学び続ける能力を伸長し、持続可能な社会に貢献する生徒を育成します。

2 教育目標

グローバルに激変する社会環境のなかで、自立することのできる人材の育成

3 スクール・ポリシー

(1) グラデュエーション・ポリシー

- ① 学問基礎の習得を図り、生涯にわたって主体的に学び続けるための基礎力を培う。
- ② 異文化への理解をはぐくみ、国際社会の一員として持続可能な社会に貢献する精神を養う。
- ③ 個性と創造力豊かな人間性をはぐくむとともに、異なる考え方を認め、他を尊敬する心を養う。

(2) カリキュラム・ポリシー

- ① 基礎的・基本的指導事項の学習の充実のために、学校評価及び生徒による授業評価によって支持されている習熟度別少人数指導を継続し、一層の有効活用を図るとともに、個に応じたきめ細かな指導を行い、得意分野を伸ばし、主体的な学習習慣の確立を支援する。
- ② 英語を通じて異文化への理解に努め、我が国の良さを認識させるとともに、学校生活全般で他者への思いやりを大切にする生活習慣や社会の基本的ルールを身に付けさせ、公共心を養う。
- ③ 英語教育とビジネス教育に重点を置くとともに、授業や学校行事等において様々なコミュニティ活動に触れることで、社会や人間関係を学び、コミュニティの大切さを理解させ、自他の人格を尊重し、人権尊重、RESPECTの精神を培う。

(3) アドミッション・ポリシー

本校は、RESPECTの精神の下、英語とビジネスに重点を置き、文系大学等への進学を目指す専門学科高校です。英語を中心に国語、社会等の普通科目とビジネスの専門科目を学習します。本校では、次のような生徒の入学を期待します。

- ① ビジネスコミュニケーション科の特色を十分に理解し、本校を第一志望とする生徒
- ② お互いを認め合い、理解し合い、相手の立場でコミュニケーションを図ることができる生徒
- ③ 英語とビジネスに強い興味・関心をもち、広い視野をもって主体的な学習を継続する生徒
- ④ 将来の進路について真剣に考え、その実現に向けて意欲的に挑戦し、大学進学を目指す生徒
- ⑤ 学校行事、生徒会活動、部活動、社会貢献活動等に積極的に参加する生徒
- ⑥ 友人や教職員と共に、学校の良き校風を継承し、新たな歴史をつくり上げようとする生徒

4 指導の重点

(1)各教科・科目の指導

- 1 グローバル・リテラシーを育成するための指導の充実を図るとともに、生徒による授業評価や学力調査等の結果を踏まえ、生徒の学力向上に向けた体系的な学習指導を行うため、適切な指導計画を作成し、授業を行う。習熟度別授業（国語・英語）、少人数編成授業（体育）を、全学年で実施する。
- 2 すべての教科で体験的で探究型の学習活動を取り入れるとともに、言語活動の充実を図る。
- 3 体力テストの結果を踏まえ、保健体育科・部活動を中心に、体力向上の取組を図り、「アクティブプラン to2020」総合的な子供の基礎体力向上方策に基づき、健康三原則を旨とし、朝食摂取率の改善・向上を図る。
- 4 期末考査後の「読書の時間」、月に1回の「図書館だより」発行などにより、読書活動を推進する。
- 5 公民科・ビジネス科の授業等を活用して体験的・実践的な学習により、主権者教育の推進を図る。

(2)特別活動の指導

- 1 学習指導要領に沿って体育祭、文化祭等の学校行事を生徒主体で計画・実施させ、異なる学年生徒の相互集団活動を意識させながら、責任感、連帯感及び達成感を醸成するとともに、本校への帰属意識をさらに高める。
- 2 地域の一員であることを生徒に意識させるとともに、新しいコミュニティづくりを推進するため、授業・部活動等を通して近隣の施設（保育園、高齢者交流施設、児童館など）との交流を推進する。
- 3 「おもてなし教育」を充実させ、異文化や日本の伝統・文化の理解を図り、学校 2020 レガシー教育（オリパラ教育）を推進し、レガシーの構築を図るとともに、海外姉妹校との直接交流活動を継続的に実施する。

(3)生活指導

- 1 RESPECT の精神のもと、他者を理解し、互いを認め合う精神と態度を育成するため、すべての教育活動を通して道徳教育の充実を図りいじめ防止に取り組むとともに、生命尊重の視点に立った生徒指導を展開し自殺防止教育を推進する。
- 2 全教職員が協力し、組織的に毎朝の正門指導、チャイム始業・終業の徹底、月1回の朝礼実施等により、「時間を守る」意識を啓発するとともに、基本的な生活習慣・規範意識の確立を図る。
- 3 地域、関係機関と連携したセーフティ教室、避難訓練、宿泊防災訓練等を実施し、情報モラルや薬物乱用防止に関する理解を深め、防災教育の充実を図る。

(4)進路指導

- 1 「進路ロードマップ」を活用し、主体的に自らの進路を選択する能力を育成するために、キャリアガイダンスや企業セミナー等を計画的継続的に実施することで、キャリア教育の推進を図る。
- 2 進学模試、進路ガイダンス、個別面談等を定期的・計画的に行うとともに、全教員による小論文指導を充実させ、希望進路の実現を図る。
- 3 長期休業中の講習や日常的な補習等により、一般入試、公募推薦への対応の充実を図る。

(5)総合的な探究の時間

- 1 「課題研究」3単位で代替し、生徒の興味・関心に基づいて設定した次の7分野から1つを選択し、自ら考えて判断する問題解決型学習や探究活動に、主体的・創造的に取り組ませる。
①会計 ②経済 ③ソーシャルビジネス ④Webデザイン ⑤広告企画 ⑥観光 ⑦商品開発
評価については、探究活動や発表活動などを踏まえ総合的に判断する。

5 教育目標達成のための特色ある教育活動等

(1)教育目標達成のための特色ある教育活動

- 1 大学教授等の学術アドバイザーによる英語、ビジネス、コミュニティ等の各分野に関連する授業計画への指導助言や特別講義を実施し、生徒の学びへの支援及び教員の授業力向上を推進する。
- 2 英語およびビジネスの学習、1学年イングリッシュキャンプ、2学年海外修学旅行を体系的に実施し、体験的・実践的英語学習を体験させるとともに、国際的なビジネス感覚を養い、異文化への理解を深めさせる。
- 3 千早の英語教育の一層の特色化と定着のため「Chihaya English Island 構想（海外連携大学による語学研修、通信講座、集中講座等）」を実施し、学校運営連絡協議会を通して、開かれた学校づくりを推進する。

(2)学校週5日制への対応

- 1 学校行事を精選し授業時数の確保に努める。
- 2 土曜日に進学対策講習、資格取得講習、部活動等を計画的に実施する。
- 3 学校説明会、体験授業、授業公開等を開催し、中学生、保護者、地域住民の参加者を増やす工夫を行う。